

恩納村地球温暖化対策実行計画実績報告書
(平成 27 年度実績)

沖縄環境経済研究所

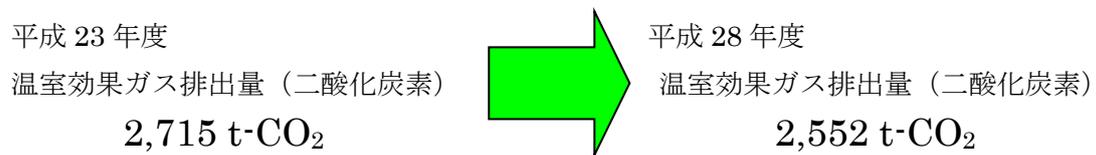
平成 28 年 11 月

恩納村地球温暖化対策実行計画実績報告書
(平成 27 年度実績)

恩納村では、地球温暖化問題に取り組むため、平成 25 年 3 月に恩納村の事務事業から排出する温室効果ガス（二酸化炭素）の削減目標と、目標達成に向けた取り組みの計画を作成しました。

1. 温室効果ガスの削減目標

恩納村の事務事業から排出する温室効果ガスの総排出量（二酸化炭素量）を平成 28 年度までに平成 23 年度比で 6 %削減します。（注 1）



注 1 : 沖縄電力排出係数は、平成 23 年度の沖縄電力排出係数（0.932kg-CO₂/kWh）に統一
<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15911>

2. 実績

2.1 温室効果ガス排出量（二酸化炭素）

平成 26 年度実績 **2,700 t-CO₂**

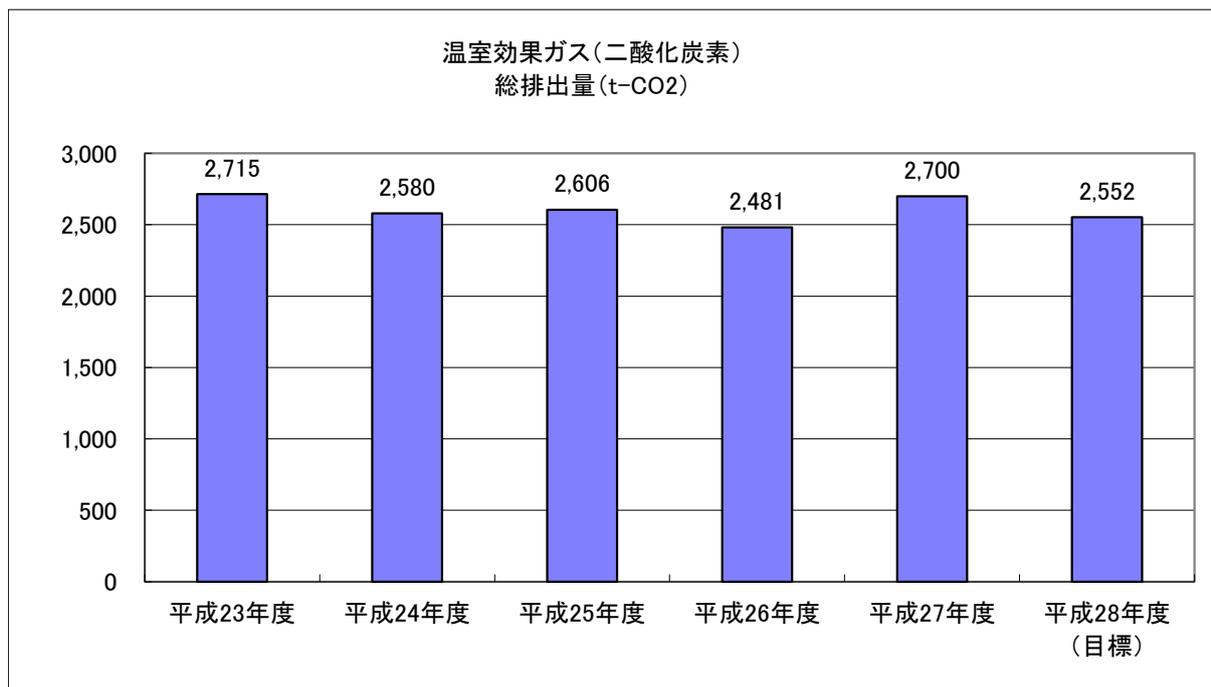
恩納村の平成 26 年度の温室効果ガス排出量は、CO₂ で 2481 t-CO₂ であり、平成 23 年度実績値に対し、0.6%削減となりました。

※前年（平成 26 年度）実績値に対しては、8.0%増加となっています。

表 2-1 温室効果ガスの総排出量の経年変化（単位：t-CO₂）

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標)
温室効果ガス (二酸化炭素) 総排出量(t-CO ₂)	2,715	2,580	2,606	2,481	2,700	2,552
平成23年度比(%)	—	△ 5.0	△ 4.0	△ 8.6	△ 0.6	△ 6.0

図 2-1 温室効果ガス（二酸化炭素）総排出量



2.2 発生源毎の割合

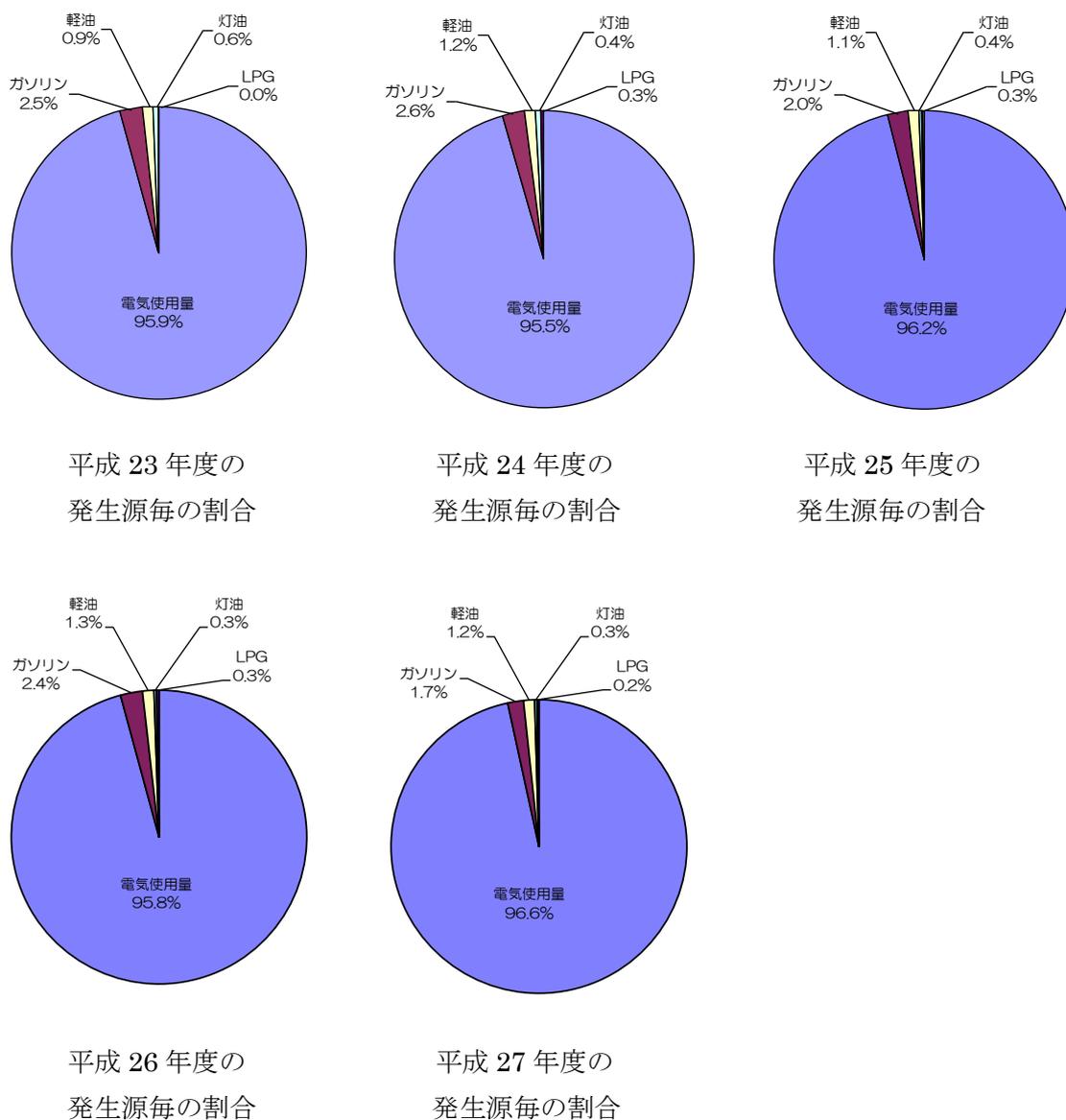
最も排出量の高い二酸化炭素発生源は、電気使用量が96.6%であり、以下ガソリンが1.7%、軽油が1.2%、灯油が0.3%、LPG（液化石油ガス）が0.2%と続きます。

この順番は、平成23年度と同じです。

前年（平成26年度）実績値に対して電気使用量が0.8%増加、ガソリンが0.7%減少、軽油が0.1%減少、灯油が同じ、LPGが0.1%減少となっています。

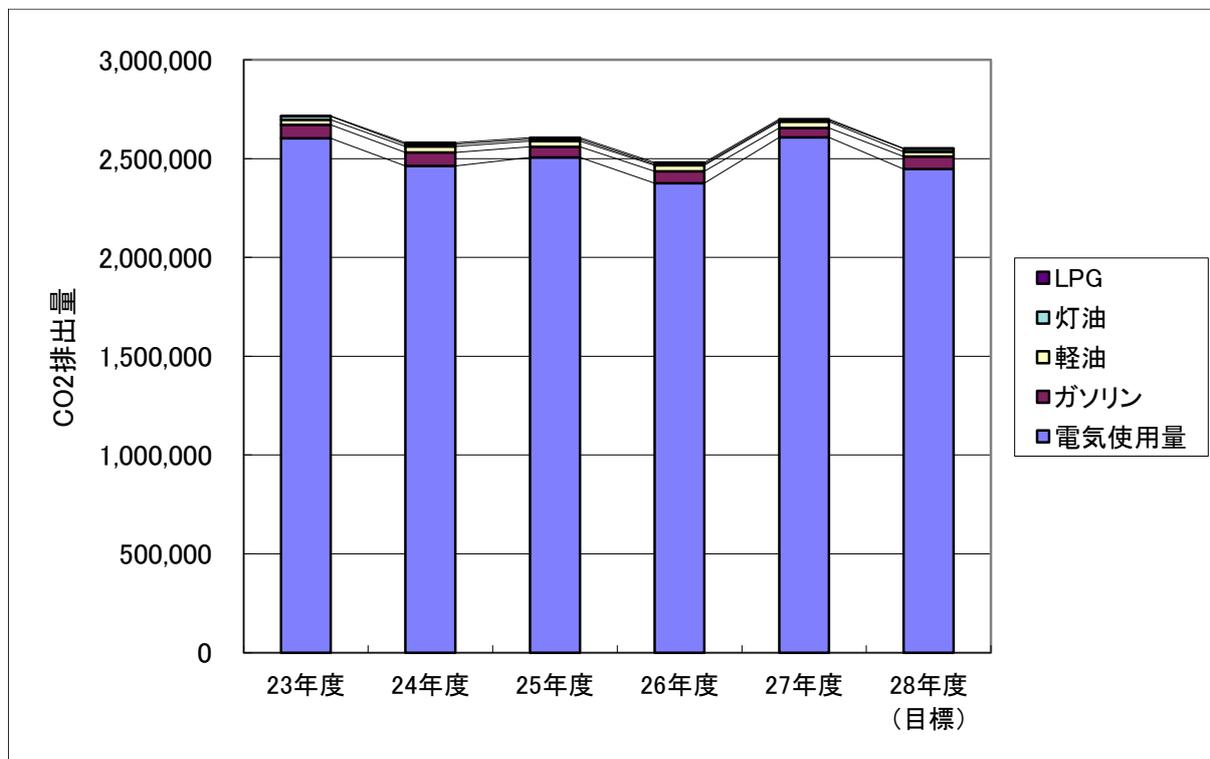
注) 小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の計が100%にならない場合があります。

図 2-2.1 二酸化炭素排出量の要因別排出状況



前年（平成 26 年度）実績値に対して CO₂ 排出量は電気使用量が 232,452kg-CO₂ 増加、ガソリンが 13,144kg-CO₂ 減少、軽油が 1,357kg-CO₂ 増加、灯油が 286kg-CO₂ 増加、LPG が 1,053kg-CO₂ 減少となっています。

図 2-2.2 二酸化炭素排出量の要因別排出状況

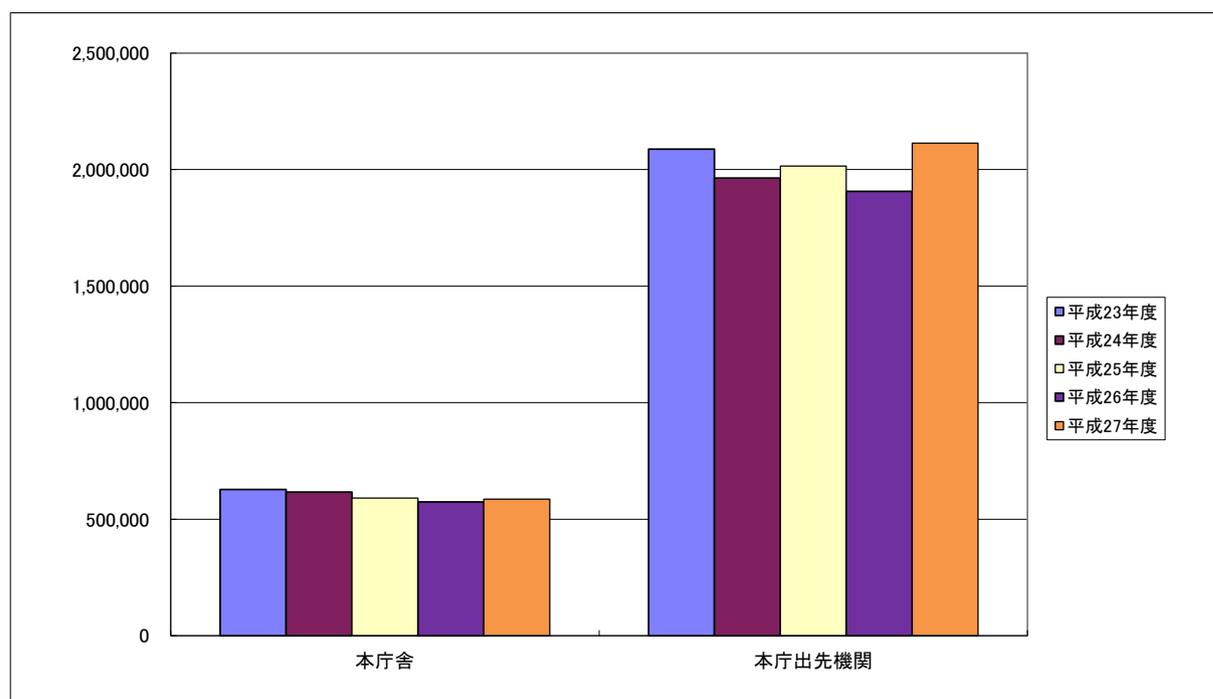


2.3 施設別排出量

施設別排出量をみると、本庁舎が 586,058kg-CO₂(前年の平成 26 年度比較は 11,580kg-CO₂ 増加)、本庁出先機関が 2,113,443kg-CO₂ (前年の平成 26 年度比較は 206,802kg-CO₂ 増加) となります。

施設別排出量の比率は、本庁舎が 21.7%、本庁出先機関が 78.3%となります。前年(平成 26 年度)実績値(本庁舎:23.2%、本庁出先機関:76.8%)に対して平成 27 年度は本庁舎が 21.7%で 1.5%減少していますが、本庁出先機関が 78.3%で 1.5%増加となっています。

図 2-3.1 施設別排出量

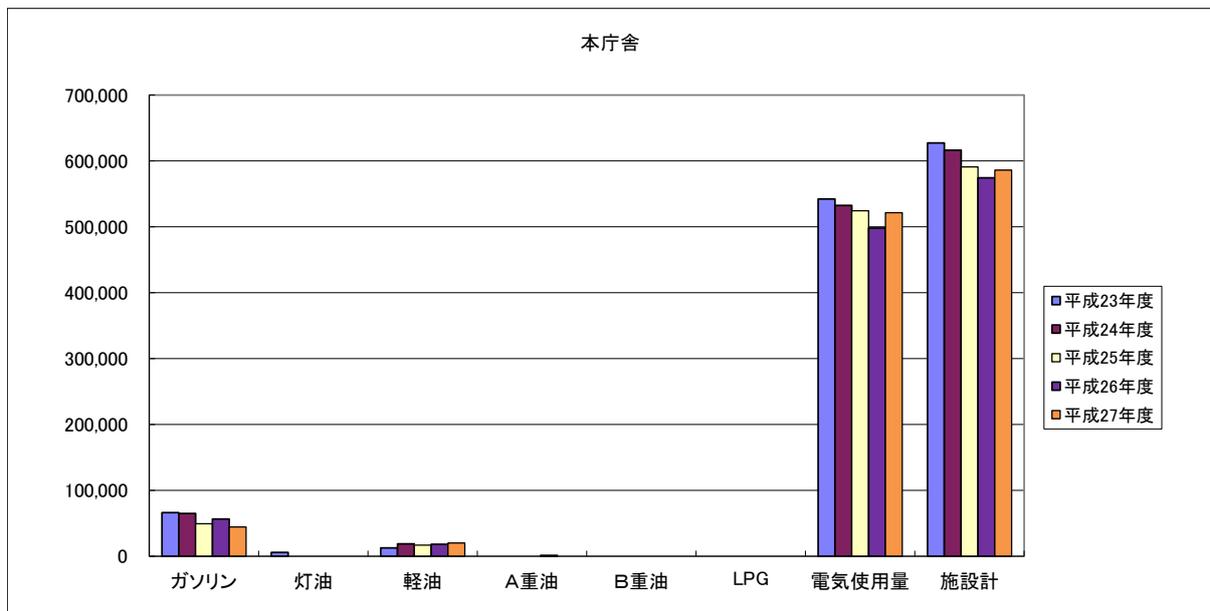


発生源別にみると、本庁舎は電気使用量が 521,267kg-CO₂ と最も高く、次いでガソリンが 44,676kg-CO₂、軽油が 20,116kg-CO₂、灯油、LPG が 0 kg-CO₂ となります。

順番は平成 26 年度と同じです。

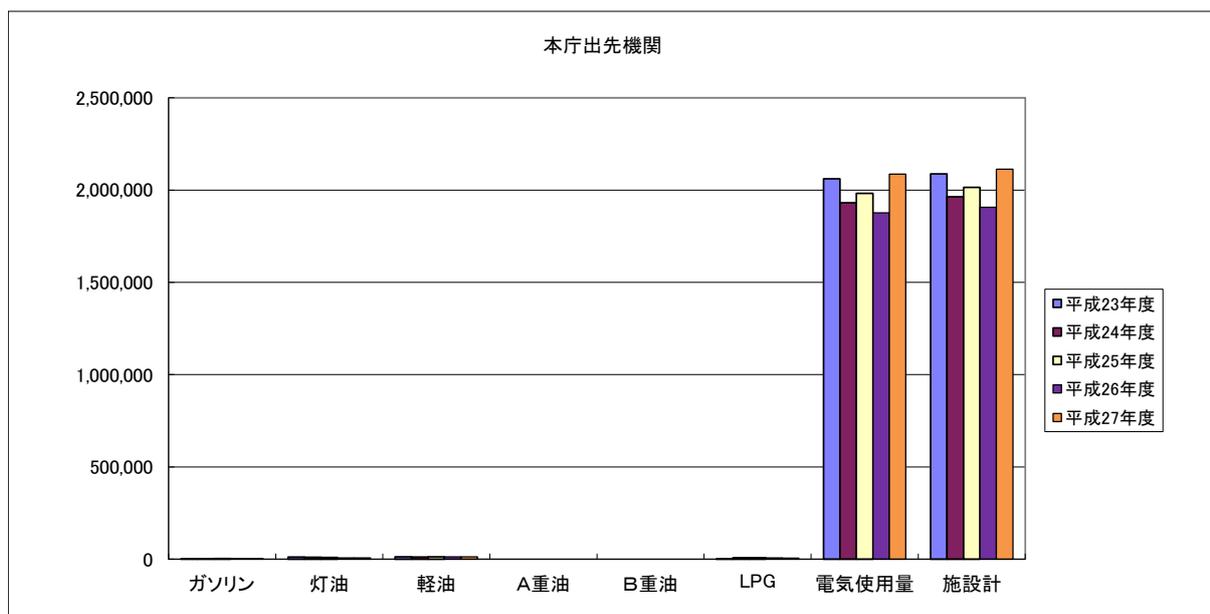
平成 24 年度から 27 年度に灯油が 0 となっている理由については、台風による発電機の稼働（上下水道課（下水道））がなかったためです。

図 2-3.2 発生源別排出量（本庁舎）



本庁舎出先機関も電気使用量が 2,086,480kg-CO₂ と最も高く、次いで軽油が 12,313kg-CO₂、灯油が 7,189kg-CO₂、LPG が 5,502kg-CO₂、ガソリン 1,960kg-CO₂ と続きました。順番は平成 24 年度から同じです。

図 2-3.3 発生源別排出量（本庁出先機関）



施設（課）毎の排出量の推移は以下の通りであり、恩納村博物館、仲泊小中学校・仲泊幼稚園、山田小中学校・山田幼稚園、総務課、恩納小中学校・恩納幼稚園、学校給食センター、喜瀬武原小中学校・喜瀬武原幼稚園、恩納保育所、安富祖小中学校・安富祖幼稚園、山田保育所（子育て支援センター含む）、仲泊畑地灌漑施設、上下水道課（下水）の順で平成26年度より増加しています。

福祉健康課、税務課、上下水道課（上水）、安富祖保育所は、平成26年度より減少しています。

恩納村博物館の増加理由としては、恩納村文化情報センターが新たに開設したことが要因となっています。（博物館と文化情報センターの電気使用メーターが同一となっているため、博物館のみの電気使用量の特定ができません。）

小中学校の増加理由としては、体育館や運動場の一般での利用が増加したため。

総務課の増加理由としては、台風等災害による職員待機の増加、また平成27年度に情報系と基幹系のネットワーク分離作業を行った結果、パソコン使用台数が増加したため、電気量が増加している。

図 2-3.4 施設（課）毎の排出量の推移

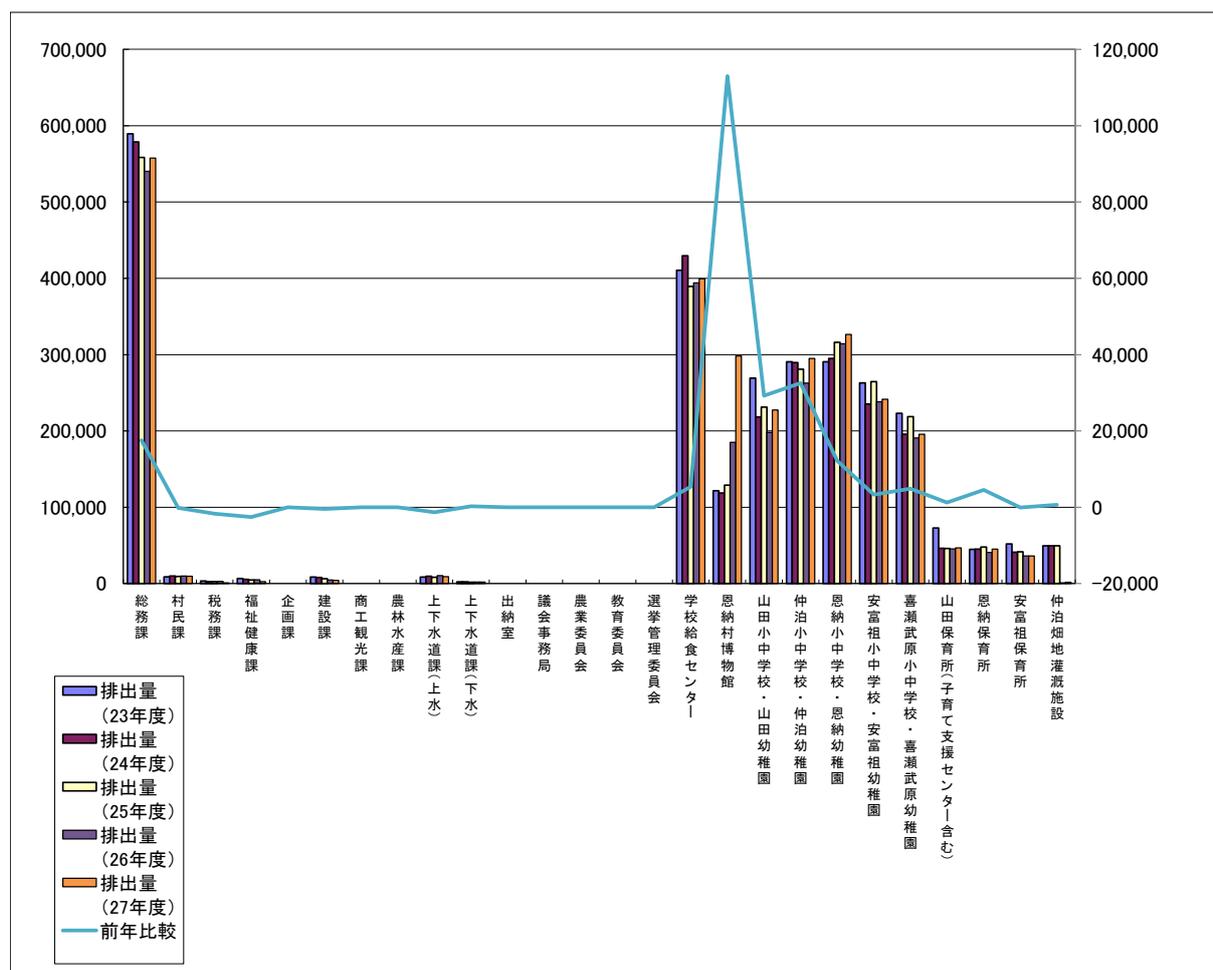


表 2-3 施設（課）毎の排出量の推移

単位: kg-CO₂

課名	排出量 (23年度)	排出量 (24年度)	排出量 (25年度)	排出量 (26年度)	排出量 (27年度)	前年比較
総務課	589,435	578,842	558,374	540,172	557,746	17,574
村民課	8,656	9,848	9,349	9,704	9,544	-159
税務課	3,347	2,540	2,440	2,722	1,018	-1,704
福祉健康課	6,535	5,441	4,643	5,017	2,448	-2,569
企画課	0	0	0	0	0	0
建設課	8,542	8,053	6,209	4,602	4,124	-478
商工観光課	0	0	0	0	0	0
農林水産課	0	0	0	0	0	0
上下水道課(上水)	8,571	9,502	8,219	10,399	9,087	-1,312
上下水道課(下水)	2,161	2,106	1,630	1,863	2,091	228
出納室	0	0	0	0	0	0
議会議務局	0	0	0	0	0	0
農業委員会	0	0	0	0	0	0
教育委員会	0	0	0	0	0	0
選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0
学校給食センター	410,447	429,541	389,492	394,140	399,500	5,360
恩納村博物館	121,622	118,640	129,054	185,233	298,247	113,014
山田小中学校・山田幼稚園	269,226	218,086	231,268	198,131	227,369	29,238
仲泊小中学校・仲泊幼稚園	290,733	289,527	280,780	262,597	295,127	32,530
恩納小中学校・恩納幼稚園	290,579	294,920	316,028	314,344	326,499	12,155
安富祖小中学校・安富祖幼稚園	262,894	235,181	264,662	238,199	241,479	3,280
喜瀬武原小中学校・喜瀬武原幼稚園	223,041	195,813	218,799	190,834	195,703	4,870
山田保育所(子育て支援センター含む)	72,720	46,167	45,921	45,408	46,654	1,246
恩納保育所	44,901	45,063	47,882	40,635	45,191	4,556
安富祖保育所	52,010	41,164	41,611	36,109	36,034	-76
仲泊畑地灌漑施設	49,503	49,503	49,503	1,010	1,640	630

3. 今後の課題

恩納村の平成 27 年度の温室効果ガス排出量は、CO₂ で 2700t-CO₂ であり、平成 23 年度実績値に対し 0.6%削減となっていますが、平成 26 年度の実績（8.6%削減）より増加しています。

目標を達成するためには、温室効果ガス排出量が平成 26 年度の実績より増加している本庁出先機関での目標達成に向けた取り組みを強化し、さらに最も排出量の高い二酸化炭素発生源である電気使用量の削減意識の普及・啓発を推進する必要があると考えます。